

は ま な す

〒098-1601 興部町字興部元町

電話 0158-82-2303 FAX 0158-82-2672

年間主題 「 愛し合う元気な仲間（ともだち・自然・動物・資源を大切にしよう） 」

2月聖句

『 ごく小さなことに忠実な者は、大きなことにも忠実です。』

（ルカによる福音書16章10節）

【巻頭言】 絵本の読み語りの大切さ 携帯・タブレット視聴では豊かに育たない！ 園長 小山哲夫

数年前に脳梗塞で文字認識（読み書き）ができなくなりましたが、少しずつ日常生活に支障がない程度に回復してきました。身体的後遺症はなく、会話（記憶・音声認識）は全く問題ありませんので、まだ速読は無理ですが、この文章を書くように、パソコン等を使えば文字の読み書きに支障はありません。



退院して職場復帰した当初、子ども達が「園長先生！これ読んで！」と嬉しそうに絵本を持ってきましたが、3歳児が拾い読みする程度にしか読めなかったのも、不思議そうな顔をして「もう、いいや・・・」と諦めてしまったことを思い出します。保育者として、子ども達に絵本を読んであげられないショックで、体が震えたことを思い出します。

10年前に、三木みな子先生（障害児介助、子育て支援センター、子育て支援で絵本読み聞かせ、わらべ歌ボランティア）の「絵本で広がる豊かな遊び、友達関係の深まり」という講演をお聞きました。三木先生が体験された「絵本で育つ子ども達の様子」や、「長く愛読されてきた絵本の素晴らしさ」などをお聞きし、「絵本の大切さ・絵本を読んでもらう楽しさ」を再確認したことを覚えています。

講演で印象的だったのは、「幼い子ども達は、成長することが仕事です。のびのびと身体を動かし、愛され・愛し、認められることで心が豊かに育ちます。その成長の過程で、父・母が読んでくれる物語に耳をかたむけ、楽しい絵を「読む」ことはとても大切です。」と説明され、「小さい子たちが絵本に求めているのは、生きた冒険なのです。絵本は手にとれる冒険の世界にほかなりません。」という絵本が子どもに与える影響を大きさが心に深く刻むことができました。

そして、子どもの心を育てる良い絵本には、以下の条件があると指摘されました。

- ・わかりやすく正確な絵がある
- ・聞きやすい文章で書かれている
- ・絵と文章のバランスがとれている



左の絵本は、1963年に『こどものとも』で発表されて以来、9ヶ国語に翻訳され、国際的にも大変人気の高い絵本『ぐりとぐら』です。描かれた2匹のねずみのうち、どちらが「ぐり」でどちらが「ぐら」か判りますか？

答えは、表紙の絵にあります。題名のぐり・ぐらの文字の色が違って、青い帽子のねずみが青い字の「ぐり」、赤い帽子のほうは赤い字の「ぐら」です。理由をこまごまと説明しなくても、わかりやすい表紙・絵が伝えたい内容を物語っています。もちろん、文章も聞きやすい言葉で快いリズムがあります。

「ぐりとぐら」は、最近の絵本等の様にカラフル・可愛らしい・ギャグ的に面白い絵本ではありませんが、50年以上子ども達に読まれて残ってきた絵本です。言い換えると、子ども達に選ばれてきた良質な絵本の一つです。

右の「スーホの白い馬」もそんな絵本の一冊です。この本こそ、「読み語り」が大切な絵本です。初めて見た時、文字も多くて小さい・・・と敬遠しがちですが、子ども達に読んであげると、スーホと白馬の優しさが心に染みる絵本です。親子で絵本の世界を共有できる素晴らしい絵本だと思います。ぜひ、子どもを膝に抱き、子どもの心の動きを感じながら読み語りしてあげてください。

1/29の道新「卓上四季」に、馬は家畜となって4、5千年の歴史があり、馬同士はもちろん人間に対しても、表情や声音（こわね）から相手の感情を読みとり、仲間の争いごとの仲裁もする優しさがあるそうです。今年は午年、私も今年72歳の年男です。ここ数年、体力が極端に落ちてきましたが、真冬でも走り回る「リス」に元気をもらい、もう少しリハビリして、子ども達に大好きな絵本を読み語りできるようになりたいと思います。



2月 行事予定

2日(月) あそびんこクラブ	14日(土) 土曜休園
3日(火) 豆まき遊び体験・交流保育	16日(月) あそびんこクラブ
4日(水) 身体測定(年中・年長)	19日(木) カール先生と英語で遊ぼう
5日(木) 身体測定(満3歳・年少)	20日(金) 2月お誕生会(豚汁)
6日(金) 新入園児体験入園、沙留小:一日入学	21日(土) 土曜休園
7日(土) 土曜休園	23日(月) 祝日
9日(月) 手足の型取り(～2/13)	27日(金) 園児お別れパーティー 月末統計
10日(火) 避難訓練・通報訓練	28日(土) 土曜休園
11日(水) 祝日 流水遠足(西紋子ども会:協賛)	

<お知らせ>

1、豆まき ピーナッツアレルギーに配慮して「大豆」をまきます。 幼稚園では食べません

今月の豆まきも、消費者庁から「窒息や誤嚥を防ぐため5歳以下の子どもの節分の豆やナッツ類を食べさせない」という注意喚起に従い、ピーナッツアレルギーにも配慮して「大豆」で豆まきをします。

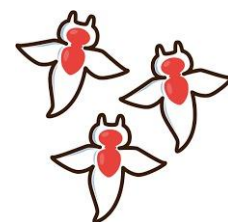
また、窒息・誤飲を防ぐため、「豆まき」をした後は幼稚園で「大豆」は食べず、市販の小袋「煎り大豆」を持たせます。各ご家庭で、窒息・誤飲に注意して食べてください。



幼稚園での飲食では、アレルギー症状が出ないように配慮していますが、園児にアレルギー症状が出た場合は、軽い症状でも、必ず、正確に、担任にお知らせ下さい。よろしくお願いいたします。

2、クリオネ 大募集!

昨年も、在園児の父母の方のご協力で、「クリオネ」を飼育・観察できました。今年もオホーツクの自然の豊かさを伝える為に、捕獲可能な方は是非ご協力ください。お願いします。



3、2月お誕生会について 2月20日(金) 豚汁

教師が調理した「豚汁」を食べます。お弁当は少なめにして、デザート等を持たせて下さい。アレルギー他で食べられない場合は、事前に担任に連絡をしてください。



4、園児お別れパーティーについて 2月27日(金)

園児と教師でお別れパーティーを行ないます。卒園する年長児のために、在園児と教師が1年間の感謝とお祝いの気持ちを込めて、準備をします。詳細は週案をご確認ください。

< 予定しているメニュー・食材 >

わかめごはん、からあげ、枝豆、フライドポテト、ウィンナー、ミニトマト、ゼリー、牛乳など

※ 好き嫌い・偏食にご注意ください ※

今年の10月に認定こども園に移行し、全園児「給食」が始まります。

アレルギー以外で偏食などがあるお子さんは、少しずつ、様々な食材に慣れるようにしていきましょう。



以上